鉱物が好物な人のための
埼玉鉱物同好会 会報誌
SAITAMA MINERAL CLUB REPORT MAGAZINE

埼玉鉱物同好会第1回採集会開催！

参加者の集合写真

こんな風に落ちている石を

ハンマーで割ってみると・・・

7月26日（土）おかげさまで晴天に恵まれ第1回目の採集会が開催されました。
カインズホーム桐生店に皆無事集合し、会長と副会長から今日の流れの説明があり、そこで出発の前に足りないものの買い出し（私は足りないものというより全部揃えましたが）。
今回の参加者の中には採集が初めてという方も多くおり、買い出しの際や説明を聞いている表情は少し不安と期待が入り混じっている感じが。そこから数台の車に分乗して場所まで移動、のどかな林道を通りぬけ、何やら舗装されていない山道へ。決して一人では入り込まないガタガタの山道が続き、車の底が擦ってしまうのではないかと思う位の山道を登ったところに少し開けた場所がありそこに車を駐車し、皆車から降りていざ採集する場所を目指すことに。ここで会長と副会長から今日とる鉱物「バラ輝石」の説明があり、「運が良ければ緑色の鈴木石も見つかるかも」との説明で皆のテンションアップ！

お目当ての「バラ輝石」

体力が基本ですよ

さあ出発と先を見ると割と緩い坂道が、「これなら結構楽そうだな」と思った矢先、副会長と会長から経路の説明が。「ここから少し行くときつい坂があります」。ふーんと思い歩き出して 5分後、「これか！」と思う勾配が・・・。いやあ結構きつい！正直心が折れそうだったが、がんばって登っている横を子供がスイスイ登って行くのを見てこれではいかんと一連発起！
ぜいぜい言いながらかれこれ10分位登った所にまた平地がありそこで一旦休憩、そこからまた少し緩やかな道が始まっている。そこを一列になって進んで行くと、その横には前に採集に来た人が置いて行ったのか大きな岩の上にバラ輝石が！綺麗とまでは行かないがなかなかの物、これから採集する場所での収穫に期待が高まります。

ハードな行程のその先には・・・

数分歩き続けると次の難所、沢登りが待っている。
基本的に横に道はあるものの、場合によっては足元の悪い川の中を渡ることも。ただ歩きにくい道だが、自然と先ほどよりもきつくない・・・少し体が慣れてきたのかきつい坂道もなんとか登る事が出来る。やはり日頃の運動不足がこういう状況だと身に染みる。

だいたい 15 分位登った所で会長が足を止める。
「真っ黒い石を割ってみて」その指示に従い割り始める。そうするといろいろな所で赤く染まったバラ輝石が!「もう少し先が一番のポイントです」と会長。我々もひと踏ん張りして少し登るとなんと既にゴロゴロとバラ輝石が落ちているではありませんか!

参加者の真剣なまなざし

ただそれは前回来た人が捨てて行ったもの、狙っている獲物ではない。そこから皆黙々と石を割り始める。大きいものは副会長が大きなハンマーで割ってくれるので皆一心不乱に石を掘っては割り掘っては割りを繰りかえす。
そうこうしているうちに「緑が見えた!」という会員さん、会長もその度にその石を見に行き判定してくれ、何人かそれを繰り返しているうちに、「これは鈴木石かもしれない」と会長の声が。もちろん見つけた会員さんは大喜び!

お目当てのもを見つければ、昼食がおいしい

それに喚起されて皆また黙々と掘っては割りをし始める・・・皆昼食も忘れ採集しまくる。

その後大自然の中で各自昼食をとりホッと一息。気づいたら随所でかなり綺麗なバラ輝石が採集されている!初めてなのにこんなに取れていいのかという声もちらほら。

採集し始めて数時間、全員が茂倉沢の獲物であるバラ輝石を獲得!ただもう時間は 14 時近くなり、今日はこれで採集終了。帰りは少し慣れたせいか皆スムーズに降りながら、時折足元の鉱物を探してみたり・・・登って来るときは違う意味で下を向いて黙々と歩いていたのに、帰りはかなり皆さん余裕な表情。その中でなんと水晶を見つけた会員さんも!

無事に皆出発した場所に戻ってきて、記念写真を撮影。車に分乗し、カインズホームで解散。最初は不安にあふれていた表情も、ここでは満足な表情に変わっていました。初めての採集会でしたが、結果全員がきちんと採集でき、無事に終了することができました!

結構山歩きがきつかったり、途中心が折れそうでしたが、終わってみるとまた行きたい!と思ってしまう・・・不思議ですね・・・。

第 2 回は 10 月です。今回よりも是非多くの方の参加をお待ちしております!!

根岸 利彰

お目当ての「バラ輝石」を手ににっこり

第2回埼玉鉱物同好会 鉱物採集会開催のお知らせ

日　　時：10月19日(日)【雨天決行】
荒天の場合：台風等で行程が不可能な場合のみ前日20：00までに中止の連絡をさせていただきます。また、天候によっては現地にて中止になる場合もございます。予めご了承ください。

場　　所：群馬県川場村鉱石山
採集鉱物：灰鉄ザクロ石・灰鉄輝石・水晶・磁鉄鉱
集合場所：群馬県道の駅「田園プラザ川場」
ビジターセンター前（川場村観光協会）
こちらは広大な敷地と充実の設備を有した人気の道の駅です。
http://www.denenplaza.co.jp/
集合時間：10:30**【時間厳守】**
申し込み：参加者全氏名と合計人数、代表者緊急連絡先（携帯番号）、利用交通機関を必ず明記の上、10月13日(月)までに事務局にメール等にてご連絡ください。参加人数掌握の為、同行者の氏名も必ずお知らせください。**件名を「第２回採集会申し込み」とご記入ください**
saikoukai@mineralshow.net

予定スケジュール

10:30　道の駅「田園プラザ川場」集合
11:00　川場スキー場駐車場
11:20　鉱石山登山口⇒準備運動後、トレッキング開始
（健脚向け・登り坂約40分）
12:00　目的地到着・採集観察開始・昼食
14:00　下山開始
15:00　川場スキー場駐車場
15:30　道の駅「田園プラザ川場」解散（バスは16：10発です）

帰宅するまでが採集会です。気を付けてご帰宅ください。
時間を厳守して、楽しい1日をお過ごしください。

キャンセルについて

採集会への参加申し込みされた後、事情によりキャンセルせざるを得なくなった場合には事務局まで必ずご連絡をお願いいたします。

寄稿のお願い

採集会のレポートの寄稿を募集しています。レポートを書いてくださる方は申し込みの際にご一報ください。400字程度（以上でも可）のもので構いません。また、寄稿申し込みのない場合はこちらから予め寄稿のお願いをいたしますのでご協力お願いいたします。

車でお越しの方へご協力のお願い

当日、電車でお越しの参加者の方がいらっしゃいます。お手数ですが田園プラザから川場スキー場駐車場までの間、皆様のお車に分乗させていただきたく思います。初めての方もいらっしゃると思いますが、ご協力のほど、お願い申し上げます。また、当日は行楽シーズンのため渋滞が予想されます。早めの出発到着を心がけてください。

電車でお越しの方へ【時刻表等、各自再度ご確認ください】

行きの時刻表【大宮駅】

◎高崎線　　6:52発 高崎行　高崎8:15着⇒乗り換え
◎上越新幹線　7:34発【とき305号】高崎8:07着⇒乗り換え
高崎8:24発 上越線 水上行　沼田駅 9:13着

沼田駅より路線バス　4番バス乗り場　沼田駅～川場村循環線
9:35発⇒　田園プラサ川場10:16着

帰りの時刻表

田園プラサ川場発
◎沼田駅行 16:10発⇒沼田駅16:40着 ◎沼田駅～川場村循環線
◎沼田駅行 18:03発⇒沼田駅18:33着　16:42発⇒沼田駅17:56着

◎上越線　　沼田17:02発 高崎行　新前橋 17:37着⇒乗り換え
新前橋17:49発 両毛線 上野行　大宮19:17着
◎上越新幹線　上越線沼田17:02発 高崎行　高崎 17:48着
⇒乗り換え　高崎18:00発東京行【あさま574号】大宮18:30着

注意事項

1・**持ち物は前項をよく読んでご用意ください。**
長袖長ズボン・登山靴（スニーカー）サンダル等不可・軍手・帽子・タオル・熊手・メガネかゴーグル・雨具（傘不可）・採集品を入れる袋・新聞紙・昼食・飲み物（500ml×2）お菓子類
＊この産地は熊手での採集が便利です。
＊ハンマー、タガネがなくても採集することが可能です。
＊霧がよく発生する山として登山者には有名な山です。
レインコートや防水加工のジャンパー等お持ちください。
2・昼食・飲料水を各自必ずご用意ください。
3・団体保険加入予定です。
4・集合時間等、**時間厳守**でお願いいたします。

道の駅「田園プラザ川場」

灰鉄ザクロ石

第１回採集会の様子

鉱物採集における必読事項

第2回採集会の募集要項は前ページにて詳細発表！

鉱物採集には山のマナーに準ずる採集マナーや準備があります。以下の内容をよく読んでから鉱物採集に向かいましょう。

10のマナー＋1（団体行動マナー）を守りましょう

1・自然保護の精神を忘れない
2・他人の敷地には入らない
3・危険な場所には近づかない
4・掘り返したら元に戻す
5・石垣は崩さない
6・人にあったら挨拶をする
7・持ち帰る標本は必要最小限にする
8・ごみは持ち帰る
9・体力と相談して無理をしない
10・家族など周囲の人に行き先をきちんと伝えておく
＋1・集合時間等**時間厳守**、10分前行動

鉱物の多くは形成までに長い年月を要します。地球の資源のひとつに鉱物も含まれます。上記に挙げたマナーを良く守り自然保護の観念を忘れずに安全で有意義な採集を心掛けましょう。

山道を登る時は細心の注意を！

持ち物リスト（全てリュックに入れましょう）

1・ハンマー（ホームセンターなどにある頑丈なもの1～3キロ）
2・タガネ（マイナスドライバーで代用可能）
3・安全めがね（石を叩いた時に目に飛び込む事がある為）
4・手袋（軍手でよい）
5・食料（おにぎりや飴・ガム・チョコ等。ごみは必ず持ち帰る）
6・ビニール袋（採集したものを入れたり、ごみを入れたり）
7・飲み物（1～2リットル・夏場は300～500ml程冷凍して行くと良い）
8・ルーペ・タオル

あるといいもの（個人で判断してください）

1・新聞紙（採集したものを包める）
2・救急用品（絆創膏・消毒薬・虫刺され薬）
3・小さなレジャーシート
4・虫除け・UVケア用品・ウエットティッシュ・汗拭きシート
5・登山用ストック（伸縮してコンパクトになるものがよい）

服装について

1・長袖、長ズボン（夏でも守りましょう）
2・よく履きなれた運動靴か登山靴（登山靴が望ましい）
3・帽子（落石や転落の際に頭を守ります）
4・リュックサック（荷物は全てリュックに入れること）

山の中には蜂、ダニ、ヒル等、普段目にしない害虫が発生している場合があります。**※特に蚊には注意しましょう（デング熱ウィルス感染の可能性があるかもしれません）**不用意な虫刺されや感染症等を防ぐためにも、肌の露出は極力少なく。襟が開いている服装の場合はタオル等を巻きましょう。また、蜂は黒っぽいものに反応します。服装はなるべく黒いものを避け、明るい色のものを選びましょう。もしもの時に発見しやすくなります。歩行行程中の安全面からも手にはなるべく荷物を持たないこと。荷物は必ずリュックに入れましょう。リュックは丈夫なものを用意しましょう。履き慣れない靴を履く場合、靴下を厚手のものにすると靴擦れが軽減します。

注意事項

1・マナーは必ず守りましょう
2・持ち物は個人で責任を持って管理しましょう
3・ハンマーを使う際は周囲に細心の注意を払いましょう
砕けた石が周囲の人に飛ぶと思わぬ事故になります
4・落石を起こした際は直ぐに下にいる人に「ラク!」と声を掛けましょう
5・体調が悪いときは直ぐに周囲の人に伝えましょう
6・山にはトイレがありません。事前に済ませておきましょう
7・行程前後には必ず充分なストレッチをしましょう

目的地に到着するまでの行程は、産地によって異なりますが、一般のハイキングや登山に準じます。ここに挙げたマナーや持ち物等をよく読んで、前々日までに準備をし、体調管理もしっかりとしてから当日に臨みましょう。採集会の場合、多くの参加者がいます。トイレ等を済ませ、装備を確認して、**集合時間10分前**には集まりましょう。遅刻は他の会員の迷惑になりますし、その後のスケジュールにも大きく影響します。参加者全員が気持ちよく採集会に臨めるように**時間厳守**・10分前行動を守りましょう。

ミネラルショーに行ってみよう！

第1回・秋葉原ミネラルショーレポート

会場は大きな窓から明るい日差しがはいります

会場前では同時開催の「癒しマルシェ」も!

埼玉鉱物同好会会長も出展しています

「鉱物をコレクションするにはどうしたらいいの?」「どんな所に行ったら沢山の鉱物が見られるの?」そういった声を多く耳にします。「お店や博物館」という答えがもっともですが、もっと凄い場所が実はあるんです。それは、「ミネラルショー」と呼ばれる鉱物の展示即売会。

2014年9月6日、7日　秋葉原UDXビル「アキバスクエア」において、第1回秋葉原ミネラルショーが開催されました。両日共に先着100名様へのプレゼントもあり初日は300人を越える行列が出来ました。会場内は冷房もよく効いていて通路も広く、ゆったりとしたレイアウト。車椅子の方や松葉杖をついていらっしゃる方等の姿も見受けられました。
会場内を見渡してみると、当会で見知った面々のブースも見受けられ、来場者の笑い声と楽しそうな会話があふれ、とてもにぎわっていました。来場者の中には会員の姿もあり、多くのの方と会話を交わすことも出来ました。こうした場所で見知った顔を見つけると、とても嬉しくなります。

さて、今回私はある店舗のお手伝いに出ていたのですが、初来場というご家族が店頭にいらっしゃって、その方々とお話をさせていただきました。

お子さんは高校3年生の娘さんと小学校6年生の息子さん。夏休みに川で色々な色の石を拾ったことから水晶が欲しくなったとの事。インターネットでこの場を知って来場したとか。まずは来場者の多さにびっくりしていらっしゃいました。更に、お父様が「水晶が欲しいというと、どこの産地のものをお探しですか?と聞かれてびっくりしました。息子と一緒にもっと本を読んで勉強しようと思いましたよ」と仰る一方でお母様は「誕生石がトルコ石なんです。それでこれを着けていたんですけど」と、鞄の中からブレスレットを出して見せてくれました。「そしたらね、これ、染めてあるものだったんですよ。そんな事を丁寧に教えてくださって。いいですね。こういうイベント」と、新しく購入した「本物」のトルコ石のブレスレットを見せてくださいました。息子さんもブラジルの水晶と中国のフローライトを購入したそうで、娘さんはネックレスをお誕生日に買ってもらっていました。家族4人が満足な顔をして会場を後にしていくのを見ると、

自分で採集した鉱物の販売も!

新規会員のお申込みも多数ございました

ミネラルショーというものはお子様からご年配の方までが気軽に来て楽しめる場であると感じずにはいられません。今回は「秋葉原」という場所と駅から徒歩3分という好立地もあって、多くのお客様がいらっしゃいました。
ミネラルショーと聞くと、ちょっとマニアックすぎるかな・・?と思っている皆さん。そんなことはありません。入場が有料のショーもありますが、入場無料で開催しているものも沢山ありますので、まずは無料で入場できるものからミネラルショーデビューしてみたらいかがでしょうか?
鉱物に関する視野がグッと広がること間違いなしですよ!
次回はミネラルショーデビューする時のちょっとしたマナーや、あると良い物をご紹介します。
お楽しみに!

瀧澤 淳子

第2回埼玉鉱物同好会 定例会開催のお知らせ

日　　時：10月5日(日)14:00〜16:00
場　　所：鴻巣市「クレアこうのす」小会議室
【会場についてのご案内】今回の会場は前回とは異なります。
鴻巣駅東口下車徒歩25分、**「クレアこうのす」**鴻巣駅から免許センター行バスをご利用いただけますが、折角ですので散策がてら歩いて来てみてはいかがでしょうか?敷地内に芝生がきれいな公園もございます。バスでお越しの際は「免許センター」で下車してください。
駐車場も完備されていますので、お車でもお越しいただけます。お気をつけていらっしゃってください。また、同施設内に飲食店「馬車道」がございます。

内　　容：❶第１回採集会（群馬県桐生市茂倉沢鉱山）報告と採集鉱物の展示
❷「水晶について知ろう」第１回・水晶の種類と形状と産地について
❸第２回採集会について
❹講習会（内容未定。時間の都合等により割愛させていただく場合があります）
申し込み：会場設置の都合がございますので、参加なさる会員の方は
10月２日(木)までに事務局までメール等にてご連絡ください。
件名を「第２回定例会参加申し込み」とご記入ください
saikoukai@mineralshow.net

定例会無料配布鉱物出品協力のお願い

ご家庭で眠っている鉱物はありませんか?それらを会員に譲っていただけませんか?購入品、自己採集品は勿論、国産外産は問いません。鉱物名と産地（不明の場合は不明と記入）を明記して当日、受付までご持参ください。定例会無料配付鉱物とし定例会参加会員様にお渡しいたします。
定例会でのイベントのひとつと位置付けたいと思いますのでご協力のほど、よろしくお願いいたします。

広報からのお知らせ

定例会では毎回集合写真や会場内の様子の写真を記録・撮影しています。今後の資料としての意味合いがありますので予めご了承ください。また閉会後、集合写真の撮影があります。

みんなで創る楽しい会報誌を！

埼玉鉱物同好会広報では、会合や採集会に参加しなくても交流が持てる会報誌を目指しています。
あなたの自慢のコレクションや鉱物採集の際に起こったびっくりエピソード。びっくり採集品などなど!
会報を彩る寄稿を募集しています。謝礼等はございませんが、まずは事務局までご連絡ください!!

見てみて!私の石!（自慢の逸品コーナー）
自慢の石を紹介します。写真は勿論、産地やエピソードなど伺えると嬉しいです。写真撮影が必要な場合はご相談に乗りますよ!

こんなもの採りました!
当会の採集会に参加した感想は勿論、ご自身で採集した鉱物を紹介してください。産地を公開してもいい場合は産地情報もOK！

私がハマったその理由
鉱物に興味を持ったきっかけや、今ハマっている鉱物について語ってみませんか?

教えて!鉱物・天然石の不思議
誰にも聞けない鉱物・天然石の疑問。答えられることだけ親切丁寧に解説します。

創刊号表記に関するお詫びと訂正
既にフェイスブックやホームページ等で告知しました通り、前号（創刊号 vol.1）に於いて、鉱物を拾い集める行為を「採取」と記しておりましたが「採取」とは「拾い取る」ことを示すため適当ではないことが明らかになりました。正しくは「採集」となります。「標本・資料などにするために、取って集めること」という意味です。皆様にはご迷惑をおかけしまして申し訳ございませんでした。

編集後記

「会員数が100名を超えました!」フェイスブックでこの知らせを聞いたとき、私は思わず背筋を伸ばしてしまいました。「これはいよいよ、変な会報は作れないぞ」と。鉱物好きが集まる同好会は数あれど、埼玉鉱物同好会の会報誌は会員の皆様が楽しく読める内容をと企画させていただいています。どんな内容が求められているのかまだまだ手探り状態なのですが、「こんな企画をやって欲しい」とか「この内容が面白かった」など皆様からのお声が聞けたら幸いに思います。次号「vol.3」では第2回定例会と第2回採集会の様子を中心にお届けしようと思っております。どちらの会も鉱物大好きな会員たちが集まりますので、奮ってご参加ください。

事務局より

埼玉鉱物同好会の活動について
本会は鉱物の愛好者で組織し、各地の鉱物の調査研究採集を行い、また鉱物に関する科学的な知識及び自然尊重の精神を培い、併せて会員相互の親ぼくをはかることを目的とする。本会はボランティア組織のため、お問い合わせなどに直ぐに対応できないことがあります。また、会運営に関するご意見や質問、会報誌に掲載する記事、挿絵、写真、採集情報等がございましたら遠慮なく事務局までお申し出ください。

個人情報の取扱い
会員の個人情報につきましては、本人の書面（E メールを含む）による了解無しに会事務局で無断で第三者に公開または提供することはいたしません。また、会員の皆様におかれましても、会則に則り、活動を通して知り得た他の会員の個人情報等の取り扱いには十分な配慮をお願いいたします。

編集：瀧澤淳子　福田陽一朗　発行：埼玉鉱物同好会事務局　埼玉県鴻巣市原馬室639-4（エディオック内）048-541-0123